

## 『事務局通信』第21号

平成30年11月15日発行  
発行者 熊本県里親協議会 会長 岩見照也  
編集責任者 事務局長 宮津美光

協議会事務局では里親同士、里親と児童相談所または里親と地域社会を『つなぐ』をテーマに事務局通信を発行しています。

私たち里親自身が里親のために取材をし、分かりやすく編集してまいります。

### お知らせ1 『秋の交流活動』里親祭り実施

平成30年10月27日(土) 津志田河川敷自然公園において、里親家庭やその支援者とのふれあいに満ちた交流を目的に、支部ごとのグループミーティングや・家族の絆づくりレクレーション、秋の味覚 BBQ (鮎の塩焼き・特大サンマの塩焼き・マツタケ釜めし)、ビンゴ大会などがおこなわれ、52名の参加者は大満足でした。

### お知らせ2 753の助成事業について

申請締め切りが迫っています！

里親家庭、ファミリーホームで生活する満3歳・5歳・7歳(2018年4月2日～2019年4月1日)になる男児・女児を対象として、過去に本助成を受けた児童も申請可能です。一人3万円上限。締切11月30日消印有効。詳細は以下までお問い合わせを。申請書は全国里親会のHPからもダウンロードできます。

問い合わせ社会福祉法人全国社会福祉協議会  
児童福祉部Tel:03-3581-6503

### お知らせ3 熊本市支部におやじの会 設立

家庭での養育を里父と里母が共同で考え、補いながら携わり、子どもにとってより良い家庭環境を作るとはとても大切なことです。

里父の会を設立してほしいという声もあり、熊本市支部で「おやじの会」が設立されました。協議会全体へ広がることを期待しています。

### お知らせ4 里親文庫本の紹介

「里親文庫」では現在、里親に関連した本の貸し出しをはじめました。シオン園里親支援専門

相談員の山川氏より文庫に5冊の関係本の寄贈がありました。ありがとうございました。  
※文庫には現在37冊在庫があります。各地区委員の皆さんに在庫本の一覧表を送りますので、交流会のさい、ご確認ください。関心のある本があった場合には事務局まで問い合わせてください。貸し出し可能です。

### お知らせ5 やまが人権フェスティバル

12月2日(日)に行われる山鹿市民交流センターにて第14回やまが人権フェスティバルの案内が来ています。近くの里親さんと役員には配布しています。

**第14回 やまが人権フェスティバル**  
平成30年12月2日(日) **入場無料**  
山鹿市民交流センター(文化ホール)

◆受付	(9:30~10:00)	
◆開会行事	(10:00~10:15)	
◆発表(人権作文)	(10:15~10:30)	山鹿市内中学生(予定)
◆発表(寸劇)	(10:30~10:50)	人権擁護委員
◆講演	(10:50~11:50)	石川 結貴さん
◆閉会行事	(11:50~12:00)	

※ 諸事情により内容が一部変更になる可能性があります。



#### 講演者

いし かわ ゆう き  
**石川 結貴** さん  
(ジャーナリスト)

#### 演題

『孤立と虐待のない街づくり～無縁化する子どもを支えるためにできること』

#### プロフィール

家族・教育問題、青少年のインターネット利用、児童虐待などをテーマに取材。豊富な取材経験と現場感覚をもとに多数の話題作を発表している。  
「ルボ居所不明児童～消えた子どもたち」は貧困や虐待問題を扱ったまま放置される子どもの実態を報告、大きな反響を呼んだ。出版のみならず、専門家コメントーターのテレビ出演、全国各地での講演会など幅広く活躍する。

◆主なメディア出演  
NHK 「あさイチ」「ニュースウオッチ9」  
日本テレビ 「ニュースプラスワン」  
「真相報道バンキシャ！」  
TBSテレビ 「ひるおび」  
フジテレビ 「とくダネ!」「ほんまでっか?!TV」  
テレビ朝日 「ワイド!スクランブル」  
「報道ステーション」

◆講演内容 家族の孤立化、地域の人間関係の希薄化、経済格差など、児童虐待の背景にはさまざまな問題があります。虐待がもたらす影響は大切な子ども時代には大きな傷を残すだけでなく、その後の就学や就労にもさまざまな問題を生じさせます。子どもたちのかけがえのない命と生活を守るためにどんなことができるのか、現場からの報告とともに具体的な対応策を提案されます。

★展示コーナー ★物販コーナー ★無料託児所あります

主 催 山鹿市、山鹿市教育委員会、山鹿市人権のまちづくり推進協議会  
くまもと県北人権啓発活動地域ネットワーク  
お問い合わせ 山鹿市役所 人権啓発課 Tel 0968-43-1199

### お知らせ6 慈愛園養育家庭支援センター開所

11月19日に慈愛園養育家庭支援センター「きらきら」の開所式がありました。開所式の中で、潮谷氏が里親支援について熱意をもって語られました。その一環としてセンターの利用について、会合や交流会などでの里親の利用が無料になっています。里親への支援の輪が広がっています。

## 「心温まるエピソード」投稿募集

里親家庭では子どもとの新たな出会いから始まる日常生活の中で、さまざまなエピソードがあります。そんな出来事の中から、心温まる出来事を募集します。思い出の絵や作文、写真どのようなものでも結構です。

### 「すべては子どもたちの幸せを願って」

永嶌 洋三郎

私は4人兄弟の末っ子として生まれました。ところが3歳の時に両親が離婚し、姉や兄たちは父方、私は母に育ててもらいました。成人し東京にでて働いておりましたが30歳の時に母がお預かりしていた天理教会の会長職を継ぐため、仕事を辞めて熊本に戻るようになったのです。大きな転機でありました。

その後まもなく結婚、待望の第一子となる長男を授かったのですが、出産直後思わぬ事態を招きました。帝王切開の手術を終えた医者から険しい顔で、「母体は無事だが、お子さんは……」と告げられました。冷たくなった長男を目の前にして家内にどう伝えたらよいものかとうろたえました。急場は凌ぎましたが、勤のいい家内はすぐに状況を察知しました。すべてを察知したうえでじっと耐えている家内の姿をみると胸を搔きむしられる思いでした。その後、2男1女に恵まれましたが、あの時の光景は今も脳裏に焼き付いています。

ブラジルへ布教に赴いた時、里子をわが子のように育てるのは当然と振舞う姿を見ました。そこでキリスト教文化圏では里親制度が発達していることを知りました。天理教では「他人の子を預かって育てることほど、大きな助けはない」と教えられていますから、私も里親への思いが一段と強くなりました。帰国して家内に相談すると快諾してくれ、平成8年、養育里親になりました。

それから、今日まで多くの子どもを預かりましたが、成人を迎えた子が「嫁に行ったら、会長さんと奥さんみたいな家庭を築きたい」と言ってくれたときは何よりの喜びでした。私たち夫婦が子どもたちにどう映っていたのか気になっていましたが、家族の核となるものは夫婦なのだ改めて感じさせていただきました。

そんな私たちに、夏の家庭体験事業で小学4年生の男の子がやってきました。物静かでどこことなく寂しそうな感じのするその子は、夏と冬の休みのたびにおとずれるようになり、気に入ってくれたのか、様々な行事にも進んで参加してくれました。やがて高校を卒業し、看護学校に進むころにはすっかり打ち解けて、頼もしい我が家の一員として育っていきました。

そうして20歳になった彼に「俺の息子にならんか」と声をかけると「いいんですか」との返事。養子縁組が決まった瞬間でした。私の生い立ちにどことなく似ていた彼の生い立ちを思うと、亡くなった長男の生まれ変わりとして我が家に戻ってきたのだと思えてな

らないのです。

彼に、一度皆の前で、“現在何か感謝していること”を話すように言いましたら、「1分で良いですか?」と言いながら話しました。

「私が一番感謝していることは、私を身籠った母が墮胎しないで産んでくれたことです。2歳の時、事情から置き去りの私をお婆ちゃんが引き受け、その後私を施設に預けてくれたこと、高校卒業までに施設の皆さんに大事に育てて頂いたこと、小学4年生頃から今日まで、冬休み、夏休みに家庭体験で明德ホームにお世話になったこと、そして中学・高校と進む中に、将来の目標が決まり、天理看護学校に合格、今日卒業1年目となります。現在思っていることは、日々の心の普請に励み、将来私を産んでくれた母が私を頼ってくるのであれば、優しく迎え入れたいと思います。」

彼は今、「働きは傍々(はたはた)を楽にする」との信念のもと、看護師として働いています。彼が如何なる境遇であっても、そこから感謝と喜びを見いだせるまでに成長してくれたことを、何よりの喜びと思う今日この頃です。

### 「里親カフェ」毎月第一水曜日

協議会事務所は、気軽に立ち寄りいただけるような場所になればいいと考えて、月イチで里親カフェをオープンしています。予約不要。時間が空いたらどうぞお立ち寄りください。お子さん同伴歓迎(綿あめ作り、ポップコーン作り、たこ焼き作り体験は無料)

飲み物(コーヒー、紅茶、その他)100円  
12月5日(第一水曜日)13:30~16:00  
事務所 熊本市東区戸島町 1177-3

### すべては子どもたちの幸せを願って!

温かいご支援ありがとうございます  
〈支援企業・支援団体〉年間5万円(1口)  
○ふるさと元気 Dressing 工場  
○株式会社 三協デリカ



里親が育てる。  
社会が支える。

### 〈熊本県里親協議会 事務局〉

事務局長 宮津美光  
事務所 861-8031 熊本市東区戸島町 1177-3  
電話(Fax 同番) 096-380-4666  
携帯 080-5250-4666  
Eメール [pygkb624@yahoo.co.jp](mailto:pygkb624@yahoo.co.jp)



熊本県里親協議会

